

AGUD・P Library Letter

2020年 11月利用状況

2020/12/1

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	29	19	1,558	481	2,039
末盛分室	19	0	443	0	443
合計	—————		2,001	481	2,482

学外利用者(登録なし)	楠元	0
	末盛分室	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	43	97	0	140

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
56	9	8

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	85	188	0	273

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	42	(34)	学外貸出	0	(0)
学外依頼	23	(1)	学外借受	0	(0)
合計	65	(35)	合計	0	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	1
合計	1

(4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学内貸出	13
学内借受	3
合計	16

新型コロナウイルスのワクチン開発について耳にする機会が増えてきました。未知のウイルスに対する対応の早さに医学の進歩と研究者の気概を感じますが、治験や副作用・予後観察についてはまだ日が浅いワクチン接種、積極的に受けたいと考えますか？

現在、人類が唯一根絶したと言われている天然痘。そのワクチン接種(種痘)を広めることに、生涯を尽くした町医者をも主人公にした『雪の花』という歴史小説をご存じでしょうか(日進本館・名公Cubic Lib所蔵)。1837年の福井を舞台にしていますが、種痘に対する恐怖で医者を狂人呼ばわりする市井の人々の様子は、今だからこそ理不尽に感じますがその時代に自分が存在していたらどうしただろうかと考えさせられます。